

# ほうじん さかけこ



発行所

酒田市中町二丁目4番1号

公益社団法人 酒田法人会

TEL 26-4772 FAX 26-4788

URL <http://www3.ocn.ne.jp/~s.houzin>

E-mail [s.houzin@jeans.ocn.ne.jp](mailto:s.houzin@jeans.ocn.ne.jp)

## ● あたらしい時代の経営者へ 法人会 ●

### — 公益社団法人 酒田法人会 —

# 第4回 通常総会

## 平成27年度事業方針決まる！

去る5月22日(金)、ベルナル酒田を会場に第4回通常総会が開催され、  
新年度の運営を話し合う場となりました。

主催者挨拶で、前田会長は、社会の環境が大きく変化している時代だからこそ「公益」の精神が求められ、会員一人一人が認識を新たにすることが必要であること、②地方においては、後継者がおらず、やむなく廃業している企業が多いことに対して、地域全体で何らかの手立てが必要なこと。③来年1月から開始されるマイナンバー制度にしっかり対応する必要があることなど、会員の理解と協力を求めました。

議事に入る前に、平成26年度功労者表彰が行われ、会員増強に尽力頂いた地区役員、研修会等の事業に積極的に参加したり、従業員を参加頂いた会員企業、また今回で退職する副会長など11名の方が栄誉を受けられました。

議事では、平成26年度に係る収支決算の承認では、内容が説明され、監査報告の後、全会一致で承認されました。また、平成27年度の事業計画と収支予算については、理事会の承認を受けて報告されました。

今回の総会で、役員が任期満了になるため、役員改選の投票が行われ、40名の理事と2名の監事が選任されました。これまで理事会にオブザーバー参加していた3部会の部会長が理事として参加することになりました。



挨拶する 前田 会長

総会開催に当たり、簡易版議案書と資料を全会員に配布し、出席を要請した結果、事前に議決権行使書(279件)や委任状(360件)を提出した会員が639件となり、当日出席122名を加えて、定款で定める総会の成立要件を満たしていることを確認して、定刻に開催された。

総会に先立って行われた記念講演会では、拓殖大学教授の富坂 聰氏が「日本人の知らない中国の

現実」と題し、習近平政権下で何が起きているか、またどこに行こうとしているかプロジェクトを使いながら解説しました。  
恒例となった公開の記念講演会は、30数名の一般参加者もあり、時の話題を聞く場としてすっかり定着した感があります。

### 表彰を受けられた皆様

#### (1) 永年勤続功労役員表彰

加賀谷勝也 (株)メックカガヤ  
大場 弥市 大場建設(株)  
井上 義裕 (株)新和設備

#### (2) 会員増強運動功労者表彰

池田 求 (株)千代田  
庄司富由子 (有)酒田水道設備

#### (3) 研修会等事業推進者表彰

西村 修 仮設機材工業(株)  
林 浩一郎 林建設工業(株)  
石井 正三 (株)石井製作所  
堀田 俊彦 (株)堀田家具製作所

#### (4) 特別功労表彰

後藤 毅 荘内証券(株)  
平野 宣 (株)平野新聞舗



# 平成27年度 事業活動の方針について

第4回通常総会で報告された「平成27年度事業計画・収支予算」は2月20日に開催された平成26年度第3回理事会で承認されたものを報告したものです。

## ● 来賓挨拶 ●



酒田 三澤 敏 幸 様

酒田 三澤 敏 幸 様



山形県庄内総合支庁長

齋藤 稔 様

## 基本方針

法人会の基本方針である「よき経営者を目指すものの団体」として会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と公益性の高い社会貢献事業を推進するとともに、組織基盤の強化を図るために、会員増強運動、会員の親睦交流等の事業を推進します。

## 公1の事業

法人会の原点である税知識の普及、納税意識を高め、税制・税務に関する提言を行って参ります。また、適正で公平な申告納税制度を維持発展させることを目的として、税法・税務に関する研修会や講習会を開催します。

税制改正及び制度改正に併せて、税務署等の協力をいただきながら、説明会等を企画・実施

するとともに、3部会においても、ニーズを把握しながら、テーマを設定し、研修の機会を設けてまいります。特に来年1月から実施される「社会保障・税番号制度」いわゆるマイナンバー制については、時期に応じながら複数回開催し、円滑に導入されるように会員のみならず公開講座を実施いたします。

また、税制改正の提言活動を引き続き実施し、税のオピニオンリーダーとして中小企業の活性化に資する税制を提言してまいります。

全法連による国会・政党に対する税制改正提言活動と連動し、地元自治体並びに議会に対して、当会でも提言活動を実施します。

小学生を対象とした租税教室は、「出前租税教室」として民俗芸能と連携した特徴的な活動を引き続き実施してまいります。

今年度は5校で実施を予定しており、酒田・飽海の全ての小学校で実施することになります。

公益法人としてホームページを積極的に活用し、開かれた情報発信に努めます。

## 公2の事業

地域社会と共生を目指した事業として、地域の実情に即した多彩な社会貢献活動を引き続き実施して参ります。

多くの市民・町民に期待されている「通常総会記念講演会」「税を考える週間」記念事業、「新年の集い」新春公演会などを実施いたします。

経営セミナー等は、会員のみならず、広く一般の企業・住民を対象に公開講座を心がけ、地域経済の活性化に寄与すべく努力してまいります。

以上、公1と公2の事業が公益活動事業として認定されており、公益団体として、公益事業活動比率が50%以上であることが求められています。

## 交流事業等

公益事業活動以外にも、会員の企業や従業員のための福利厚生制度は、引き続き保険3社(大同生命株・AIU保険会社・アメリカンファミリー生命保険会社)と連携して幹旋・普及に協力してまいります。税に関する書籍の幹旋をする【取1】事業や、会員の親睦交流を図る【他1】事業を実施します。新規事業として、交流麻雀大会を

実施しますので、多数の参加を願います。

## 組織強化と基盤整備

組織が活発に活動するには、組織強化は最大の課題です。全国的に稼働法人数が減少傾向にある中、当地域も同様な環境にあり、理事会、地区役員会を中心に会員拡大を図っていく必要があります。会員皆さんのネットワークを活用して、会員獲得を期待するものです。





## 第4回 通常総会 記念講演会



# 「日本人の知らない中国の現実」

講師／拓殖大学教授 富坂 聰 氏

### 中国情報は的確か

最近のメディアは、中国の影響力の増大と日本人の関心の高まりで、報道量が多く、かつ決めつけて映している。しかし、実情はそうではなく、なんとなくすっきりしない情報提供が非常に多い。日本の津々浦々まで、中国の認識が広まったところは、本当の中国は別な国になっている。大体周回遅れで情報が入っている感覚だ。例えば、わいろがすごいとの認識があると思うが、ここ一年ぐらいは取材のお礼も受け取らない。そのくらい中国の常識も変わった。

### 反腐敗キャンペーン

2013年3月に国家主席に

講師は、昭和39年 愛知県生まれ、北京大学 中文系に留学後、「週刊ポスト」「週刊文春」記者を経て、平成14年にフリージャーナリストとして独立。昨年4月から拓殖大学海外事情研究所教授に就任。記者の目で見えてきた中国の現実を紹介いただきました。

就任した習近平が打ち出した政策に、反腐敗キャンペーンがあり、汚職をした官僚を徹底的に取り締まっている。キャンペーンと同時に贅沢禁止令も出されており、毎日500人が処分されている。前線で指揮をしているのが王岐山で、たたけば埃の出ない人はほとんどいない中国の官僚は、この人の名前を聞いたとたん背中がゾクゾクする。自身の失脚に繋がる話になる。

### 習近平は鄧小平を超えたか

最近では、毛沢東に次いで有名な鄧小平を超えたのではないかと言われている。国民からは、そのくらい強烈なリーダーと思われている。

その理由は何か？

中国のトップの本音はなかなか見えないが、1月に執務室から国民に呼びかけた。この放送を大勢の国民が見ており、支持をしている。そこで語られたことは、「この一年風紀を糺し、形式主義に反対し、官僚主義と闘い、享楽主義とも戦ってきた。」

「トランプもハエも逃がさない」、習近平は本気でトランプ退治を始めた。彼を表す言葉として、「象から降りて蟻に乗った」がある。既存の国家権力から降

りて、蟻という大衆に乗ったことを意味する。蟻という大衆は普段は弱い、ひとたび一つの方向に動き出すと本当に恐ろしい力を発揮する。だから、そのことを良く知っている習近平は象から降りて蟻に乗った。民生重視!!

### 三匹のトランプ

胡锦涛時代ではありえない大物を次々とらえている。令計画、周永康、徐才厚。

このような大物が失脚すると権力闘争に思われるが、令計画の場合は違う。息子の事故の隠ぺいに軍隊を動かしてしまった。周永康の場合は権力闘争の部類に入るが、周永康に繋がっていた薄熙来と胡锦涛体制の権力闘争の残りを引きずった。

習近平がトランプ退治を本気でしなければならぬ背景には、トランプより恐ろしいものが中国に目覚め始めているから。

### トランプより恐ろしいもの

蟻が本当の実力を発揮しそうな兆候が中国にある。ネット社会でターゲットにされ、失脚、逮捕が後を絶たない。人肉検索というターゲットを丸裸にする

エネルギーは、格差社会で未来に希望が持てない大衆の報復。北京の一流大学を卒業しても、コネがなければ就職できず、違法な地下室で暮らさざるを得ないドブネズミ族と言われる若者がいる一方、12億円の披露宴を行ったり、コネで若くして大会社の役員になるものもあり、不満が鬱積しつつある。習近平は文化大革命でしいたげられた、人間の底を見た。だから蟻が怒りはじめると何が起こるかよく知っている。そのような経験をした人間が、今中国のトップにいて、おこななければならない。二世議員と簡単に決めつけているが、発想も、考え方も、危機感の持ち方も全く違う。だからこそ、中国の人心をしっかりとつかんでいると思う。今習近平がやっていることは、病気に例えれば、手術が必要なのに放置し、痛み止めを注射しているようなもので、根本治療にはなっていない。ただ、中国が抱える問題には、その痛み止めはかなり効くと思われ。習近平の間は痛み止めだけで持っていけると言うが、2022年に退任した時はちょっと心配である。

# 平成27・28年度 新体制決まる!!

## ① 本部役員 (理事・監事)

役 職	氏 名	法 人 名
会 長	前 田 直 己	前 田 製 管 (株)
副 会 長	弦 卷 伸	(株) 弦 卷
〃	大 滝 健 二	(有) 木 村 屋
〃	滝 井 宗 一	(株) 滝 井 商 店
〃	池 田 求	(株) 千 代 田
〃	秋 山 伊 佐 雄	酒 田 天 然 瓦 斯 (株)
理 事	上 林 直 樹	(株) 上 林 鉄 工 所
〃	大 井 誠 一 郎	大 井 建 設 (株)
〃	和 島 公	せんじん商事(株)
〃	畠 中 昭 治	日 之 出 石 油 (株)
〃	高 橋 幸 雄	(株) 丸 高
〃	阿 部 孝 志	阿 部 建 設 (株)
〃	加 藤 聡	加 藤 総 業 (株)
〃	加 賀 谷 勝 也	(株) メ ッ ク カ ガ ヤ
〃	大 場 弥 市	大 場 建 設 (株)
〃	井 上 義 裕	(株) 新 和 設 備
〃	池 田 健 一	(株) ふ と ん の 池 田
〃	今 野 博	(株) サ カ タ フ ー ズ
〃	齋 藤 博 紀	(株) 齋 藤 農 機 製 作 所
〃	池 田 一 喜	松 山 観 光 バ ス (株)
〃	川 口 千 晴	(株) み な と
〃	庄 司 茂 正	庄 司 建 設 工 業 (株)
〃	平 岡 清 康	酒 田 海 陸 運 送 (株)
〃	林 浩 一 郎	林 建 設 工 業 (株)
〃	佐 藤 剛 宏	菊 勇 (株)
〃	吉 川 哲 央	東 北 東 ソ ー 化 学 (株)
〃	渡 部 佐 界	庄 内 園 芸 緑 化 (株)
〃	齋 藤 俊 一	(株) 齋 藤 精 肉 店
〃	中 村 穰	ハ ク ヨ ウ 電 気 (株)
〃	齋 藤 英 輔	フ ジ ク ラ 産 業 (株)
〃	西 村 修	仮 設 機 材 工 業 (株)
〃	大 谷 正 樹	(株) 大 谷 事 務 機
〃	石 井 和 廣	(株) 平 田 牧 場
〃	高 橋 芳 彦	酒 田 共 同 火 力 発 電 (株)
〃	大 泉 公 子	(株) 大 泉
〃	後 藤 昭 仁	ク リ ー ン サ ー ビ ス (株)
〃	青 山 武	環 清 工 業 (株)
〃	池 田 新	青 年 部 会 長
〃	佐々木 聖子	女 性 部 会 長
〃	池 田 順 一	研 修 部 会 長
監 事	五 十 嵐 亮	日 新 開 発 (株)
〃	高 橋 竹 夫	(株) タ カ ハ シ 会 計

## ② 地区役員 (◎ 地区長 ○ 副地区長)

地 区	氏 名	役 職・法 人 名
北 部 ◎	小 名 守	(株) 新 和
	大 場 弥 市	理 事
駅 東 ◎	庄 司 富 由 子	(有) 酒 田 水 道 設 備
	池 田 順 一	(有) 池 田 労 務 行 政 事 務 所
中 央 上 ◎	菊 地 恒 夫	(有) 菊 池 菓 子 舗
	斎 藤 透	荘 内 証 券 (株)
中 央 下 ◎	齋 藤 俊 一	理 事
	荒 木 照 夫	(有) 荒 木 米 穀 店

地 区	氏 名	役 職・法 人 名
東 部 ◎	斎 藤 英 輔	理 事
	金 内 勝 彦	(株) キ ャ ド ウ イ ン グ
南 部 ◎	斉 藤 淳	(株) 斉 藤 工 業 所
	梅 田 恒 夫	(株) 梅 田 屋
河 南 ◎	伊 藤 功	(株) 酒 田 港 リ サ イ ク ル 産 業 セ ン タ ー
	須 藤 重 彦	(株) 須 藤 製 作 所
遊 佐 ◎	庄 司 茂 正	理 事
	本 間 知 広	(有) ほ ん ま
	金 子 誠	金 子 建 業 (株)
八 幡 ◎	阿 部 孝 志	理 事
	高 橋 正 幸	八 幡 燃 料 (株)
	小 野 浩 弥	(有) 一 條 製 材 所
松 山 ◎	池 田 一 喜	理 事
	渡 邊 辰 雄	(株) 辰 ケ 湯 旅 館
	後 藤 俊	(有) 後 藤 商 店
平 田 ◎	今 野 博	理 事
	佐 藤 達 也	(株) 庄 内 エ コ ポ リ ス
	小 林 健	車 の み ど り (有)

## ③ 委員会委員 (◎ 委員長 ○ 副委員長)

委 員 会	氏 名	役 職・所 属
組 織 委 員 会	◎ 滝 井 宗 一	副 会 長
	○ 上 林 直 樹	(北 部) 理 事
	高 橋 幸 雄	(駅 東) 理 事
	滝 井 宗 一	(中 央 上) 理 事
	平 岡 清 康	(中 央 下) 理 事
	和 島 公	(東 部) 理 事
	畠 中 昭 治	(南 部) 理 事
	加 賀 谷 勝 也	(河 南) 理 事
	庄 司 茂 正	(遊 佐) 理 事
	阿 部 孝 志	(八 幡・松 山・平 田) 理 事
税 制 委 員 会	◎ 秋 山 伊 佐 雄	副 会 長
	○ 阿 部 孝 志	理 事
	大 井 誠 一 郎	理 事
	平 岡 清 康	理 事
総 務 委 員 会	◎ 大 滝 健 二	副 会 長
	○ 齋 藤 英 輔	理 事
	佐 藤 剛 宏	理 事
	佐 藤 憲 二	青 年 部 会 O B
	齋 藤 薫	青 年 部 会
	南 間 春 子	女 性 部 会
広 報 委 員 会	◎ 池 田 求	副 会 長
	○ 渡 部 博 夫	青 年 部 会 O B
	杉 山 道 弘	青 年 部 会
	大 川 賢 一	青 年 部 会
	佐 藤 幸 美	女 性 部 会
	鈴 木 啓 一 郎	三 水 会
Web 委 員 会	◎ 加 藤 聡	理 事
	○ 大 谷 正 樹	理 事
	佐 藤 博 信	青 年 部 会
荒 井 修	三 水 会	

### 平成27年度 「税を考える週間」記念事業

予告

「税を考える週間」(11月11日～17日)の記念事業を、次の内容で行う予定です。酒田市観光大使、上々颱風(しゃんしゃんたいふ～ん)のボーカリストを中心に、愉快的仲間たちが市民会館に集合します。大勢の皆様楽しんでいただきながら、税について考えて頂きたいと思います。

開催日 11月11日(水) 午後6時30分 開演  
会 場 酒田市民会館・希望ホール  
案 内 9月以降、ポスター・チラシ等で

“酒田の皆様 けてきたよ～！  
みんなで歌おの、笑おのコンサート”

### 白崎映美と仲間たち(仮題)



### 新たな体制を 担います

## 8人の新理事誕生!!

任期満了による役員改選が行われ、退任した後藤毅、平野宣両副会長の後任に、池田求理事、秋山伊佐雄理事が就任しました。また、退任した佐藤悌夫、小林元雄、新田嘉七、天笠俊介の各理事の後任には次の方々が新しく理事に就任されました。これまで理事会にオブザーバ参加していた三部会長(青年部会、女性部会、研修部会(三水会))も在任中理事として活躍をお願いすることになりました。



石井 和廣 氏  
(株)平田牧場



高橋 芳彦 氏  
酒田共同火力発電(株)



大泉 公子 氏  
(株)大泉



後藤 昭仁 氏  
クリーンサービス(株)



青山 武 氏  
環清工業(株)



池田 新 氏  
青年部会長



佐々木聖子 氏  
女性部会長



池田 順一 氏  
研修部会長

和やかに  
交流の場が  
持たれました

「ジャスミン」の皆様から、懇談会に花を添えていただきました。記念講演会に続き中国風にまとめてみました。

懇談会に花を添えていただきました



### 感謝状贈呈

永い間  
ご苦勞様でした

永年役員として当会の活動にご尽力いただき、役職定年で退職される理事と、退任する副会長に対して、前田会長から感謝状が贈呈されました。当日は二人が出席しました。





平成27年度 3部会

# 第4回 通常総会が開催されました

酒田法人会の事業の推進に当たり、中心組織である「青年部会」「女性部会」「研修部会（三水会）」の第4回通常総会が、親会に先立ち4月にそれぞれ開催されました。

青年部会	4月20日(月)	18:30～	日新開発ビル
女性部会	4月21日(火)	10:30～	日新開発ビル
研修部会	4月15日(水)	12:45～	ベルナール酒田

## 青年部会



池田 新  
青年部会長

昨年度は組織拡大を重要な課題と位置づけ、新入会員獲得に役員全員で努力しました。その結果、9人の新しい仲間が増え、7月には、新会員と交流納涼会が開催されました。

また、「総務」「税務」「社会貢献」の各委員会では、計画に基づき、「ランナー」の発行、先進企業視察、話題の「事業承継」の勉強、新春講演会では、教育問題など多岐にわた

る委員会活動が行われました。今年度は、継続事業の「出前租税教室」を小学校5校で開催する中で、3校を担当し、残りの学校は女性部会をサポートすることを確認しました。

また、今年の卒業生が6人と多いことから、新規会員の獲得を継続して行うことも確認されました。今年度は、役員改選にあたり、新役員体制が次のように決まりました。

部会長	池田 新
副部会長	齊藤 薫
幹事	上林 賢一
	大川 博信
	佐藤 泰昭
	保科 太郎
	阿部健太郎
	斎藤理一郎
	若村 光司
	杉山 道弘



卒業生の皆さん



新入生の皆さん

総会後の懇談会は、OBも含めて50人もの会員の参加を得て、和太鼓のアトラクションに大いに盛り上がりました。

## 女性部会



佐々木 聖子  
女性部会長

青年部会と連携して実施している「出前租税教室」は、庄内出羽人形芝居の人形遣い師 津盛柳貳郎さんと一緒に南遊佐小学校、藤崎小学校を

訪問し、子供たちに税の大切さをアピールしました。身近な健康問題については、老人保健施設を訪問し、介護の現状について学ぶことができました。

「いちごプロジェクト」(節電キャンペーン)は、駅前商店街夏祭りに呼応して、浴衣姿で広く協力を求めました。10月には、オリエンタルカーペットと天童木工に視察研修を行い、最先端のデザインを見ることができました。

女性部会も役員改選に当たり、新体制として次の方々が担うこと

になりました。

部会長	佐々木聖子
副部会長	佐藤 幸美
幹事	南間 春子
	野口 美保
	佐藤富士子

新体制も役員5名体制で運営し、会員間の交流を深め、活動の充実を図ることを確認しました。

総会を記念して、酒田駅長 佐藤一晃氏が「夢それは『観光の都庄内』〜無限の可能性を信じ夢に挑む!〜」と題し、庄内の観光資源の可能性を熱く語っていただきました。

## 研修部会 (三水会)



池田 順一  
研修部会長

昨年度は、会員企業の実務担当者の研修会としてスタートし46年を経過しました。部会体制に切り替えて益々公益性を求められるようになりました。毎年のように変わる税制や年金制度にしっかりと対応できるように研修の場を設けながら、経済動向についても幅広く知見を得ることができました。各企業の労務担当者が正しい知識で業務できることを狙い、弁護士による勉強会も開催することができました。

課外研修は「東日本大震災のその後」と題し、気仙沼を訪問し、まだまだ復興の道筋が遠い現実を目の当たりにし、風化しつつある思いを、しっかり伝える必要を感じました。

第4回総会に引き続き行われた、4月例会では「平成27年度の経済予測(本県経済状況について)」と題し、山形財務事務所 土屋清彦 財務課長より講演をいただき、経済指標を基にした県内の経済状況について研修しました。研修部会も役員改選が行われ、新体制は次のとおりです。

部会長	池田 順一
幹事	鈴木啓一郎、池田 信也
	本間 洋子、荒井 修
	鍋倉 徹、土井 淳

今年度も年間計画と担当幹事を決めて事業推進体制を整え、可能な限り「公開」を心がけて研修の内容を充実していくことを確認しました。